

【NEWS RELEASE】

2021年9月30日

各位

株式会社三井住友銀行

三機工業株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、三機工業株式会社（代表取締役社長：石田 博一）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の三機工業株式会社に対する評価結果は、「環境配慮型の製品・サービスにおける取組」、「ローカル・グローバルコミュニティへの配慮」、「企業統治体制」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 製品・技術を通じて環境に貢献するため、KPIとしてCO2削減提案による受注件数の目標等を設定されている点、また、具体的な取組として、省エネ型焼却炉の導入やAIを活用した汚泥処理設備全体の省エネ化等を進めておられる点
- ② 社会的課題解決に向けた取組として、感染症対策に資する特許技術の公開や、ウイルスの流行状況を把握するための下水監視システムの開発研究に参画されている点
- ③ 2021年4月にサステナビリティ推進室を新設し、経営層をメンバーとした準備委員会を定期的に開催しながら、経営上の重要課題としてサステナビリティの取組を推進しておられる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「目標13 気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けて明確な意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



当社は、空調や衛生、電機などの建築設備から上下処理設備などのプラント設備まで幅広い事業にわたり省エネや創エネなど脱炭素社会の実現に貢献しております。当社が2010年に設立した『SANKI YOU エコ貢献ポイント』制度は、お客さまへの省エネ提案が採用された場合、CO2削減量をポイントに換算し、植林などの環境保全活動を支援する当社独自の取組です。

2020年10月に10周年を迎えたことを記念し、お客さまへの感謝の気持ちをこめ山梨県甲斐市にある「三機の森（当社が継続的に植樹・育樹活動を行っている区域）」に隣接する場所に、新たに「感謝の森」をつくりました。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。